

# 第11回 KUワークショップ 〈研究発表会〉

文学研究科副専攻「EU-日本学」では、今年度もルーヴェン大学（ベルギー）、チューリッヒ大学（スイス）、カレル大学（チェコ）の学生と合同で研究発表会を開催いたします。事前申し込み不要・参加費無料で、どなたでもご参加いただけます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

開催日

2018年9月11日 火 (10:30 受付開始)

会場

関西大学 千里山キャンパス  
尚文館 5階 501 講義室

10:30

受付開始

10:50-11:00

開会の挨拶

11:00-12:30

〈第1セッション〉

中谷 真悠香（関西大学）

「江戸時代における東海道の宿場町」

Eline Mennens（ルーヴェン大学）

「記憶の場—近代日本における二宮尊徳と楠木正成一」

Hanne Deleu（ルーヴェン大学）

「第一次世界大戦中におけるベルギーへの日本の人道支援—さまざまな慈善活動と動機—」

12:30-13:30

(休憩・昼食)

13:30-15:00

〈第2セッション〉

Veronika Probst（チューリッヒ大学）

「寧波仏画とその図像学」

Anjuli Ramdenee（チューリッヒ大学）

「木版絵葉書のアルバムをめぐる」

Jan Havelka（カレル大学）

「吉屋信子とキャサリン・マンスフィールドとジャンル変化—ドールハウスから人形の家へ—」

15:00-15:10

(休憩)

15:10-16:10

〈第3セッション〉

Kateřina Knaislová（カレル大学）

「昔話における英雄の旅—日本とチェコの比較—」

Erturk Damla（関西大学）

「≪光は動いている物体≫なのか？ ≪光は流体(液体)≫なのか？

— 〈光〉のメタファーの日英土対照研究—」

16:10

閉会の挨拶



主催：関西大学大学院文学研究科 副専攻「EU-日本学」

お問い合わせ先：関西大学大学院文学研究科副専攻「EU-日本学」室

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

Tel 06-6368-1111(+3979) E-mail eu-japanology@gmail.com